

学校評価のねらい

○教職員自己評価

学校教育目標の実現をめざし、児童の姿に現れた具体的な成果・課題をもとに学校自らが取組の継続かつ迅速な点検・見直しを行うために実施。公教育としての説明責任と行為責任の明確化を図る。

○児童による評価

教職員の日常の実践を振り返るため、学校の一人一人の児童の、学校での充実感・満足感を学校生活全般から探ると共に、学力向上の取組の現状を、授業という日常の実践を、児童の立場から評価し、改善に生かす。

○ 保護者・地域の外部評価

教職員の自己評価に客観性を持たせ、保護者・地域の学校の教育活動に対する関心を高め、それぞれの果たすべき役割を再認識し、双方向に連携することで、よりよい教育環境をつくり上げるために行い、学校運営に生かす。

	評価の検討と実施	学校運営協議会	公表の時期と方法
4	学校評価年間計画の策定と 教職員への公表		学校だより（教育方針の発信）
5	評価委員会にて、学校評価の実施に向けた企画、評価項目の検討・作成		評価年間計画をHPで公表
6	☆第1回評価 保護者アンケート実施 児童アンケートの実施 教職員自己評価の実施 ↓ 地域（学校運営協議会理事） の方のアンケート実施		
7	評価委員会 評価結果の集約・分析・考察 全体の改善策の作成 個別の改善策の作成	第1回学校運営協議会 学校教育方針の説明 評価結果の共有・改善策の策定	
8			学校だより、HPで結果分析と考察、改善策を公表
9			
10			
11			
12			
1	☆第2回評価 保護者アンケート実施 児童アンケートの実施 教職員自己評価の実施 ↓ 地域（学校運営協議会理事） の方のアンケート実施		
2	評価委員会 評価結果の集約・分析・考察 全体の改善策の作成 個別の改善策の作成		
3		第2回学校運営協議会 評価結果の共有・改善策の策定 次年度の方針説明	学校だより、HPで結果分析と考察、改善策を公表